

いわみの

(益高だより)

第117号

平成28年9月20日

島根県立益田高等学校

■平成28年度益高学園祭を終えて

生徒会担当 嶽 菜穂子

今年の学園祭を通して感じたことがあります。益高生はやっぱり様々な能力をもっているなあ、ということです。初日に行われた3年生の演劇は40分間の大作です。演劇を完成させるため、自分たちでシナリオや映像、工夫を凝らした大道具や衣装の作成、照明や音響などの操作を行い、長い時間をかけてクラス内で話し合いながら完成させています。本番のステージ裏で見せる姿は一人ひとりが緊張感をもちながらその時間を楽しんでいました。グラントワの大きなステージで、観客を魅了する作品を発表できる生徒の姿にとっても感動しました。2年生が作成したデコは、これまで使用してきた重たいベニア板を、今年から安全性と軽さを重視してプラスチックダンボールに変更しました。初の試みで、生徒に様々な点で心配や苦勞をかけてしまいました。ですが、さすが2年生。責任者を中心に、初めて行う作業も手際よく、仕上がったデコの絵も独創的で素晴らしいものでした。応援合戦は、クラスで決めたテーマに沿った色鮮やかなデコに合わせ、1年生と共に元気のある声と各色の工夫を凝らした応援合戦を披露してくれました。1年生の合唱は準備期間の時から合唱の声がとても大きく、合唱に向けるクラスの想いが伝わってきました。本番前のステージ裏では、緊張感の中にも自信に満ちた表情を見せてくれ、どのクラスも団結力を感じました。そして発表された歌声は、ピアノの伴奏にのせて大ホール全体に大きく響きわたり、会場は温かい拍手に包まれていました。

今年のスローガンは、「わ～みんなの想いが創りだす～」でした。学園祭を主催し頑張ってくれた生徒会執行部が考えたものです。振り返ると演劇・デコ・応援・合唱を、クラスでいい作品を創りたいという、みんなの想いがあるからこそ益高の学園祭が毎年良いものになっているのだと感じました。そして、仲間との”わ”、部活の”わ”、クラスの”わ”、益高の”わ”、そして、保護者の皆さまや地域の方々にご協力を頂き、多数の方々はこの学園祭にご来場いただくことができ、益田市の”わ”につなげる事ができたのではないのでしょうか。また、今年も台風の影響で日程を変更するなど、雨に悩まされながらの準備となりましたが、体育祭も全ての種目が開催できたことは本当に安心しました。最後に、学園祭での募金活動や模擬店等の売上から平成28年熊本地震災害義援金として、103,956円の募金をさせていただきました。この学園祭の成功は、生徒の頑張りはもちろんですが、陰ながら支えていただいた先生方、保護者の皆様、関係して頂いた皆様のお陰でもあります。本当にありがとうございました。



■生徒の声

青組

学園祭総合優勝、応援2位、デコ1位、合唱1位

組長 上田 荘太郎 (3-3)

青組は各学年に皆を引っ張るリーダーがいたので、私は準備期間からずっと楽しむことに専念できました。3年3組は愉快的な人の集まりで、劇で入賞できなかったけど楽しむことができました。しかも、1年生、2年生の頑張りのおかげで高校最後の学園祭を総合優勝で締めくくることができました。青組の皆には感謝が尽きません。

演劇責任者 寺井 和生 (3-3)

私が演劇責任者になって感じたことは、話をつくるのがとても難しいということです。私は、去年は生徒会長としてたくさんの苦難がありました。今年もそれと同じくらい苦労しました。しかし、去年の経験が少しばかり役に立ち、なんとかやり遂げることができました。学園祭を通じて、さらにクラスの雰囲気が好きになりました。

応援責任者 清水 咲希 (2-5)

同じメンバーでの2回目の体育祭で、とてもスムーズに準備ができました。1年5組の皆も素直で良い子ばかりだったので、賞こそ取れなかったけど最高の応援ができました。2の5、1の5、そして盛り上がりを見せてくれた3の3の皆さんに感謝です。来年は同じメンバーで3回目の体育祭です。5組の根性を最大限に発揮します。

デコレーション責任者 寺尾 知華 (2-5)

今回の体育祭で学んだ事、それは仲間を信じることです。デコであっても応援であっても自分の仲間を信じて作業を任すことができなければ限られた少ない準備期間の間に全ての過程を終了することは不可能だと気付きました。決して良いリーダーではなかったけれどもついてきてくれたデコの人、本当にありがとうございました。

合唱責任者 大畑 亜理佐 (1-5)

今回の学園祭で1年5組はとても良いクラスだなと感じました。男子が8人しかいない上に合唱部は1人しかおらず、合唱において不利な状況のように思いましたが、全員が最優秀賞目指して一生懸命練習しました。そのおかげで5組は最優秀賞をとることができました。この素晴らしいメンバーで3年間、勉強も行事もがんばりたいです。

紫組

学園祭総合2位、演劇3位、応援3位、デコ3位、合唱3位

組長 原田 亘 (3-4)

高校生活最後の学園祭を、最高の仲間とともに充実したものにできたことがとても嬉しいで

す。協力し合い、笑い励まし合い、語り合う仲間がいてくれたことに感謝します。みんなの協力で学園祭を盛り上げることができました。学年を超えて、一人一人が特別なオンリーワンとなり、益高生全員で多くの“わ”を創り上げることでできた、思い出深い学園祭になりました。ありがとうございました。

演劇責任者 久城 勇樹 (3-4)

演劇に向けた学園祭準備期間は本当に充実したものでした。途中でセリフの大幅な変更があったりと大変なことも多かったですが、困難を乗り越え4組のみんなの一つの演劇を一から創り上げたことは、高校生活における最大の思い出になりました。演劇ができたのは関わったすべての方のおかげです。ありがとうございました。

応援責任者 津田 晃希 (2-2)

「勝ち負けではない」、今まではこの言葉の意味がわからなかった。勝つことに意味があると信じてきた。でも、1年、2年の壁を越えて一つになった応援が完成したときに、心から楽しかった。本番を迎えられたときにはミスもしてもいいから楽しくやろうと思える自分がいた。負ければ悔しいがそれ以上に得たものは大きかった。

デコレーション責任者 田中 詩歩 (2-2)

紫組は優雅なイメージが自分の中ではあったため、花を題材として表現し、主な色を三色で統一することにより、人目を引くように工夫して描きました。紫の色は全体的に色が濃くなると映える色が少なくなるため、デコの制作には苦勞しました。クラスの皆さんに最後まで協力してもらって無事完成できたことに本当に感謝しています。

合唱責任者 廣瀬 乃映 (1-1)

今回の合唱が初めてクラスで協力して成し遂げることができたことでした。皆でたくさんの意見を出し合い、合唱練習をすることで自然と1組の“わ”が強くなっていきました。本番では、私たちの友情の輪をたくさんの人に見ていただけたと思います。これからの学校行事でも全員で協力して学校生活を送りたいです。

緑組

学園祭総合3位、演劇1位、応援1位、デコ2位

組長 原納 仙和 (3-2)

高校生活最後の学園祭に組長として参加し、やり遂げることができて最高でした。1年2組の合唱、2年4組の応援・デコレーション、全部素晴らしかったです。頼りない組長で、しかも組長としての仕事はあまりありませんでしたが、とても良い経験・思い出になりました。ありがとうございました。

演劇責任者 山岡 美結 (3-2)

私達3年2組は「ファインディング・ラブ」という劇をして最優秀賞をいただくことができました。演劇の練習や準備に積極的な人が多く、劇の良いところや悪いところをクラスで意見を出し合って、全員で本気になって取り組めたことは、これから先ずっと心に残る最高の思い出になりました。ありがとうございました。

応援責任者 屋敷 賢司 (2-4)

決まらないダンス。隊形移動皆無。終わらない編集。そう、我が緑組は順調に遅れをとっていた。他の組に罵倒され、侮辱される日々。ザワザワ、ザワザワ。不安がよぎる。だが我々は諦めなかった。我々には信念があった。ソウル&スマイル。これさえできれば勝てると思った。結果は…。だから大事なのはソウル&スマイル。

デコレーション責任者 齋藤 勇人 (2-4)

皆様は和といえば何を思い浮かべるでしょうか。古き良き日本の文化であると感じる方が多数かと思います。しかし、私達が最初に思いついた和は、それらとは全く別物、オタク文化です。残念なことに我々の得意分野でした。高2男子が先頭に立って描きあげた我々の姫を少しでも可愛いと思っていただけたのなら幸いです。

合唱責任者 桐田 武尊 (1-2)

文化祭で発表する合唱コンクールの練習が始まり、非常に練習期間の短い中、クラスの皆と共に協力して一つ一つの練習を大切に取り組んでできました。結果としては、練習の成果があまり振るうことがなかったけれど、合唱コンクールが終わった頃にはクラスが1つにまとまり、皆との絆が少しでも生まれたように思います。有難う。

黄組 学園祭総合4位、応援3位

組長 福満 翔 (3-5)

3年生の演劇に始まり、1年生の合唱、そして2年生が中心となった応援合戦。雨による延期もありましたが、それぞれが自分たちの役割を全うし、この学園祭を成功させることができました。学園祭の開催にあたり、お世話になった先生方、生徒会、そして当日会場まで足を運んでくださった保護者のみなさまありがとうございました。

演劇責任者 田中 怜 (3-5)

意見の食い違いや日数の短さへの焦りが絶えない準備期間であったからこそ、本番では最高の演出、そして達成感を得ることができました。長い伝統をもつ益田高校の演劇に、3年5組のみんなと一緒に参加できたことは一生の思い出です！協力してくださった先生方や保護者の方、3年5組のみんな本当にありがとうございました！

応援責任者 寺戸 玄 (2-1)

自分が何も言わなくても、みんなが考えて動いてくれて本当に助かりました。特に応援の中心になってくれた白石さんが黄色を引っ張ってくれたことには感謝しています。本番ではアクシデントがありましたが、明るく元気にでき持てる力を精一杯出すことができました。本当にありがとうございました。

デコレーション責任者 島田 日菜子 (2-1)

初めてデコを描いて緊張と不安で胸がいっぱいでしたが、みんなと協力してできて大変良い経験になりました。唯一の心残りは、殆どの方がデコのキューピットを天使と勘違いしていたことでした。しかし、それ以上に当日絵を掲げられた時の歓喜と称賛は忘れられません。そして、体育祭の後みんなが絵の前で写真を撮ってくれたことに感動しました。

合唱責任者 吉野 優也 (1-3)

練習時間が少なく、最初はなかなかまとまりませんでしたが、本番では、歌う人、指揮者、伴奏者が気持ちを一つに合わせて歌うことができました。また本番では、クラスの良さが発揮できたと思います。結果としては、3位以内に入ることができませんでしたが、この合唱を通して改めてクラスの中の良さを実感しました。

赤組 学園祭総合5位、演劇2位、合唱2位

組長 関口 飛有 (3-1)

3年の演劇「holomua」、2年のデコ及び応援「鬼気奮進」、1年の合唱「明日への扉」。どの学年もテーマにふさわしく、優れたパフォーマンスをみせることができました。当日までみんな

で話し合い、表現し、努力して作品を作り上げたと思います。赤組のみんな！ありがとうございました！！

演劇責任者 杉原 風花 (3-1)

今回の学園祭は三年間で一番思い出に残るものになりました。仲間と力を合わせてひとつの演劇をつくりあげる達成感を味わい、貴重な経験ができました。責任者として至らない点が多かったですが、お互いに支え合い、1組全員で演劇を「holomua」(成功)させることができて本当によかったです。

応援責任者 熱田 理沙 (2-3)

応援責任者になって、私は多くのことを学び、たくさんの人と関わることができました。その中で赤組に出会うことができ、何も賞を取ることはできなかったけど、どこの組よりも1番団結力のある応援合戦ができたと思います。赤組になれて1年4組、3年1組と一緒にいる事ができて本当に楽しい体育祭になりました。ありがとうございました。

デコレーション責任者 大庭 大将 (2-3)

今年の赤組のデコでは賞は取れませんでした、レベルの高い素晴らしい作品ができたと思います。

今回私は生徒会の仕事もあり、責任者としてあまり現場で作業に加わることはできなかったのですが、立派なデコが完成したのは最高なデコメンバーに囲まれたおかげです。ありがとうございました。

合唱責任者 矢野 皓太郎 (1-4)

私たちのクラスは1位を取ることを目標としてやってきました。練習では、歌に強弱をつけたり、外れている音を修正したりと、工夫して取り組みました。本番では、練習した成果が出て、迫力ある合唱ができました。結果は2位で目標であった1位ではなかったけれども、「4組らしさ」を存分に出せたので良かったです。